

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>【新しい時代の教育】</p> <p>新時代の到来を見据えた新しい学びを創造します。</p>	<p>■次代を担う子どもたちが幸せな未来を創り出せるよう、人格形成の基礎を培う幼児期の教育を充実させるとともに、ICT環境の着実な整備と活用を図るなど、新しい時代の教育を進めます。</p> <p>【幼児教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児教育アドバイザー」を配置し、幼児教育の質の向上と小学校教育との円滑な接続を推進 ＜3人配置＞ <p>【新しい時代の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度までを目途に、府立高校の全普通教室にICT環境を整備し、ICTを活用した新しい学びを推進＜7校整備＞ ・中学校ブロック内の幼・小・中が連携して、認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ実践的研究を実施＜5中学校区＞ ・企業・大学と連携し、「答えのない課題」に対し長期的・継続的に取り組む「課題解決型学習」を中学校で実施＜5中学校＞ <p>【確かな学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4・5年生では個別補充学習を、中学校1年生では振り返り学習を実施し、学習のつまずきを早期解消 ・中学校2年生では学力アップ集中講座を実施し、基礎・基本の徹底や発展学習を実施 <p>【グローバル人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢に向かってチャレンジする高校生の海外留学を支援し、国際社会で活躍できる人材を育成 ＜100人支援＞ ・訪日した外国人に府立高校生が英語で観光ガイドを行うなど、「おもてなし文化交流」を実施

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業や研修を通じて英語教育を先導する「小学校英語教育推進教員」を配置し、小学校英語教育の早期化・教科化に対応<30人配置> ・中学2年生を対象に英語4技能テストを行い、今後の英語指導に活用 ・高校1・2年生を対象に英語4技能テストの受検料の1/2を助成するなど、英語によるコミュニケーション能力を育成<英検準2級相当を取得している高校生：37.5%> <p>〔特別支援教育の充実〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校において、社会的自立や就労につながるICT活用能力を育成<1校> ・清掃・接客・パソコン実務・介護の分野の「京しごと技能検定」を実施し、特別支援学校生徒の就労意欲や企業就労率を向上<就職率：30%> ・地域と一体となって共生社会の実現を担う「地域と共に歩む学校」のモデルとなる特別支援学校を井手町に新設（令和3年度開校）するとともに、教育と福祉の総合的な連携による切れ目ない支援の充実を目指し、向日が丘支援学校の改築基本構想を策定 <p>〔夢に応えられる府立高校づくり〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立高校の特色化を進め、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばす教育活動を展開 ・地元企業や研究機関と連携して、即戦力となる地域のものづくり産業の担い手を育成 ・丹後地域において、自分のペースで「自立心・主体性」を身につけることができる京都フレックス学園構想に基づく新しいスタイルの高校を新設するとともに、地域に学校を残し、学校、生徒、地域をつなぐ「学舎」をスタート（令和2年度開校） <p>〔豊かな心の育成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、地域の伝統文化や古典に関する体験活動などを実施 ・すべての府立高校で京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じた伝統文化学習を実施<全校>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>【安心・安全な教育環境】</p> <p>安心・安全で充実した教育環境を整備します。</p>	<p>■いじめや不登校への早期対応や家庭教育への支援、子どもたちの成長を支えるコミュニティづくりなど、安心・安全で充実した教育の環境を整備します。</p> <p>【いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した相談体制の調査研究を進めるとともに、24時間対応の電話相談や「ネットいじめ通報サイト」など、民間企業と連携したインターネット監視等を実施 ・学校にまなび・生活アドバイザーを配置・派遣し、福祉関係機関等との連携により相談体制や家庭への支援体制を充実くまなび・生活アドバイザー：小学校 28 校、中学校 40 校＞ <p>【不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村が設置する教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家を配置し、不登校児童生徒支援の拠点としての機能を強化＜ 8 箇所＞ ・学校にスクールカウンセラーを配置・派遣するとともに、教室に入りにくい児童生徒を別室等で支援する「心の居場所サポーター」を配置し、相談体制や学習支援体制を充実 ＜ SC：小学校 39 校、中学・高校全校、心の居場所サポーター：小学校 16 校、中学校 22 校＞ <p>【家庭・地域の教育力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員や保育士のOBである家庭教育アドバイザーが、妊娠期から支援を行っている「子育て世代包括支援センター」等と連携し、家庭教育に悩みや不安を抱える家庭を訪問するなど、幼児期から就学後に渡る切れ目のない支援を実施 ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動など、地域全体で子どもの学びや成長を支え、地域の活性化を図る取組を推進 <p>【高校生の修学支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就・修学支援制度により、家庭の経済的な理由で子どもの学習機会が損なわれないように支援

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<ul style="list-style-type: none"> ・多額の通学費を負担する高校生の保護者に対する補助制度を拡充 <p>〔府立学校施設の整備〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀の倒壊防止等の安全対策や、避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能を強化 ・学校施設をより長く安全に利用できるよう、着実に長寿命化改修等を促進 <p>■平成 30 年度のアクションプランとして策定した「教員の資質能力向上プラン」に基づき、教員がやりがいやロマンを持って教育活動に取り組めるよう、働き方改革の観点も踏まえながら、Web 配信システムの整備や外部人材の活用など、実効性のある取組を進めます。</p> <p>〔教員の資質能力の向上〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 配信により、教員が勤務校等に居ながら業務の都合のよい時間に研修を受講でき、また、育児休業中の教員も自宅で研修を受講できる仕組みを整備 ・グローバルな視点を持ち、幅広い識見を身につけた教員を育成するために、先進的な教育制度や施策を視察する海外派遣研修を実施＜2 人派遣＞ <p>〔教職員の働き方改革〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校部活動支援のため、「部活動指導員」など学校の実態に応じた外部人材を配置 ＜部活動指導員：中学校 90 人、外部指導者：中学・高校 180 人＞ ・教員の事務作業を補助する「スクール・サポート・スタッフ」を小学校に配置し、授業準備等に集中できる環境を構築＜20 人配置＞ ・多様な課題を抱える児童生徒に専門的な見地からきめ細やかな指導ができるよう、「スクールカウンセラー」や「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣 ＜SC：小学校 39 校、中学・高校全校、まなび・生活アドバイザー：小学校 28 校、中学校 40 校＞

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>〔教育委員会事務局の働き方改革〕</p> <ul style="list-style-type: none">・職員一人一人のタイムマネジメントの意識を向上させるとともに、所属長のリーダーシップのもと、思い切った業務の見直しなど効率的に仕事を進められる環境づくりを推進

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>【潤いと感動をもたらす文化とスポーツの振興】</p> <p>京都が世界に誇る貴重な文化財の保存・伝承と活用を図るとともに、「スポーツごころ」をテーマとしたスポーツ施策を推進します。</p>	<p>■文化財の保存・活用に関する総合的な施策の大綱を策定し、文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりでその継承に取り組んでいきます。</p> <p>〔文化財の保存・伝承と活用〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化財保存活用大綱（仮称）」を策定し、文化財の保存・活用の方向性を明確化するとともに、市町等における計画の策定を支援 ・文化財の活用促進のため、見映えを良くするための美装化やスロープ設置・トイレ改修など、環境整備のための経費を支援 ・府立高校生や歴史学科・建築学科等の大学生を対象に、文化財の保存や修理、職人の仕事に興味をもってもらえるよう、建造物修理現場の見学や職人体験事業等を実施 ・国宝等の保存修理現場を間近に見学できる特別公開と府域の周遊をセットにした観光ツアーを実施 ・京都府内に多数存在する貴重な文化財の保護のため、府独自・全国初の「暫定登録文化財」制度により、緊急の保護対策を実施 <p>■今年3月に改定した京都府スポーツ推進計画に基づく「する」「みる」「ささえる」スポーツ環境づくりを推進します。</p> <p>※スポーツごころ：「感動」「楽しみ」「向上」「挑戦」「つながり」「公正」といった、日々の生活における「よしっ！」「さあ！」「やってみよう！」という前向きで積極的な心のありよう</p> <p>〔運動・スポーツの推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導力向上指定校の取組や出前授業等の実施など、児童生徒が体を動かすことが好きになる取組を充実 ・2020 東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、京都ゆかりの世界クラス・全国クラスの選手を輩出するため、スポーツ医・科学サポート機能を充実させるなど競技力強化に向けた支援を実施 ・京都府版マスターズ大会を開催することにより、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 関西に向けた機運を醸成するとともに、多くの成年・中高年の健康増進や生涯スポーツの推進に寄与

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。